

記録を残す

宮崎・早野論文検証で見えてきたこと



福島

の現状を 知り、語り、考える会

参加費 500 円 (資料代)

未来へつなげるために 今できること

2020 年 2 月 8 日 (土) に、専修大学 (東京都千代田区) で第 5 回「福島の現状を知り、語り、考える会」を開催します。原発事故から 10 年目を迎えようとするなか、福島県内でも小学生は原発事故の記憶が曖昧か、低学年によってはほとんど無いという状況にあります。また、自治体レベルでは震災当時の行政文書が、通常の行政文書と同じように保存期間の終了を迎えたということで次々に破棄されています。このように「終わったこと」か、もしくは「今さら」という雰囲気になるなか、未だ収束を見ない原発事故の記憶、記録を次世代に伝えることができるのか？今回は、原発事故後の「これから」を共に生きる人たちと、「記録」をキーワードに、話し合いの場を持ちたいと思います。

2月8日 土

13:30-16:30

専修大学 神田キャンパス

7号館 3階 731 教室

- ・水道橋駅 (JR) 西口より徒歩 7 分
- ・九段下駅 (地下鉄/東西線、都営新宿線、半蔵門線) 出口 5 より徒歩 3 分
- ・神保町駅 (地下鉄/都営三田線、都営新宿線、半蔵門線) 出口 A2 より徒歩 3 分 (法科大学院へは徒歩 1 分)

第 1 部 13:30 ~ 14:50

「記録を残す」

宮崎・早野論文検証で見えてきたこと

島 明美

(個人被ばく線量データ利用の検証と市民生活環境を考える協議会代表)



第 2 部 15:00 ~ 16:30

「どのように原発事故について伝えていくのか」

パネリスト 島 明美 (個人被ばく線量データ利用の検証と市民生活環境を考える協議会)、高橋 千春、
佐原 真紀 (NPO 法人ふくしま 30 年プロジェクト)、中村 奈保子 (みんなのデータサイト)

ファシリテーター 平井 有太 (NPO 法人ふくしま 30 年プロジェクト)

[順不同]



認定 NPO 法人

ふくしま 30 年プロジェクト

主催・問い合わせ

福島市飯坂町字一本松 11-7 TEL: 024-573-5697 FAX: 024-573-5698
<https://fukushima-30year-project.org/> info@fukushima-30year-project.org

この事業は、「一食 (いちじき) 福島復興・被災者支援」事業の助成金を活用して行っています。